



サンマが高いですね。新鮮なサンマの刺身美味しいですね。

時計・ジュエリー・メガネ

杉岡時計店新聞

第 48 号 2018 年 9 月

時計・宝石・メガネ 杉岡時計店 〒569-0804 高槻市紺屋町 1-1 グリーンプラザたかつき 1 号館 1 階
<http://www.sugioka-tokeiten.co.jp> TEL 072-685-0875 発行者: 杉岡 誠

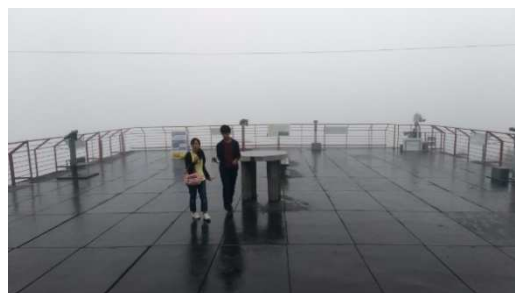
夏休み 2018

専務の杉岡誠です。まだまだ残暑が厳しいですが、いかがお過ごしでしょうか?6月には大阪府北部地震があり当店の掛け時計も何点か破損しましたが、大きな被害はなく2日後より通常営業が出来ました。たくさんの方にご心配いただきありがとうございますございました。7月は猛暑でほんとに暑かったですね(>_<)この夏の暑さ何とかならないものなのでしょうか?暑いのは苦手です。8月は台風が多かったですが、台風に会うことなく岐阜県高山へ家族旅行へ行ってきました。毎年夏は海へ行くことが多いのですが今年は山へ行ってみようと言う事になり、白川郷と北アルプスの新穂高ロープウェイへ行ってきました。



大阪から白川郷まで車で大きな渋滞もなく約4時間ほどで到着。結構遠いです。山間部を縫うように作られた高速道路というだけあってトンネルが多いです。途中の飛騨トンネルが10キロもあり後で調べてみたら国内で3番目に長いトンネルでした。その長いトンネルを抜けると白川郷です。合掌造りの集落が目の前に広がり現代とは違うタイムスリップしたような感覚になりました。田んぼの稲の緑色と合掌造りと後ろの飛騨の山並みが合わさった景色がとてもきれいでしたよ。一部公開している合掌造りがありましたので見学させていただきました。屋根裏が2層3層構造になっており、農作業道具がたくさんあり、ここで色々作業もできるように作られているそうです。白川郷を後にして宿泊先の高山市へ移動し市内を散策していると大好きな酒蔵を発見!旅先では地酒を購入するのが楽しみの一つでもあります。今回は「深山菊」と「山車」を購入しました。ほんとはその場で試飲しながら購入したかったのですが、車の運転がありますので帰ってから美味しくいただきました。2日目は北アルプスの雄大な山々の景色を見たくて新穂高ロープウェイへ行ってきました。高山市内からさらに東へ車で約1時間ちょっとです。途中にあった平湯温泉も有名な温泉ですね。今回は立ち寄りませんでしたが、機会があれば一度行ってみたい温泉です。平湯トンネルを過ぎ標高が高くなるに連れ、なんとなく天気が怪しい感じになってきました。旅行に行く前に期待していた景色は快晴で見渡す限り360度北アルプスの山々が見れる、新穂高ロープウェイのホームページに掲載している写真のような景色です。いつでもそんな景色なのだろうと勝手に思い込んでいましたが山の天気は変わりやすい!そう言いますよね。大阪に住んでいると2500mを超えるような山など存在しませんので、その日の天気が急に変わるという概念がありません。出発時にそこそこ良い天気なら行先も良い天気だろうと思い込んでしまっておりました。

ロープウェイ乗り場に到着した時点で山頂は霧で全く見えません。でもここまで来てロープウェイに乗らず帰るわけにも行きませんので乗車すると案の定30秒程で視界は真っ白!(∇°)雲の中です。何も見えません!頂上の展望台もほとんど人がいませんでした。緑の山をバックに写真を撮る予定でしたが白い写真しか撮れませんでした。



老眼鏡と拡大鏡の違い

40歳過ぎから小さい文字が見えにくくなってきます。そのよう経験をされている方も多いと思いますが、実際小さな文字を見るには老眼鏡がいいのか拡大鏡がいいのか、いまいちよくわからない方もいらっしゃることでしょう。老眼鏡とは目の調節機能を手助けするメガネです。近くの物を見る時に、眼は調節機能を働かせて近くの文字や物体にピントを合わせます。その調節機能が年齢とともに衰えて近くにピントが合わなくなります。そのピントが合わない部分を補助するのが老眼鏡で、ご自身の見たい距離で手元の文字などを見やすくします。ですので文字自体を大きくするわけではありません。ここが拡大鏡との違いです。拡大鏡は文字通り文字や物体を大きく拡大して見やすくするものです。拡大率の大きな拡大鏡ですと確かに文字は大きく見えますが、見たい距離でピントが合うことは難しいと思います。顔を近づけたりして距離を合わせなければなりません。老眼鏡、拡大鏡とも用途によって使い分けのほうがいいと思います。老眼鏡は既製品の物でも十分役立ちますが、できれば視力検査をしてご自身の眼にきちんと合った老眼鏡を作られた方が使いやすいですよ。老眼鏡、拡大鏡に限らず今お使いのメガネやこれからメガネを作ろうとお考えの方、ご相談賜りますので一度ご来店くださいませ。

タキメーターとテレメーター

時計用語のお話しをしたいと思います。ストップウォッチ機能（クロノグラフ）が付いた腕時計は各社より様々なデザインで発売されておりますが、よく見るとケースの縁に目盛りがついているタイプの時計があります。あまり気にしていないと見落としてしまう事がありますが、



この目盛りちゃんと意味がありますし、種類もあります。まずは「タキメーター」と呼ばれるタイプの目盛り。左のタグホイヤーの時計のケース縁の目盛りがタキメーターの目盛りですがクロノグラフの時計では一番種類が多いタイプの目盛りです。2時位置に「400」3時位置に「240」12時位置に「60」と目盛りがあります。自動車レースなどで平均時速を計測できるような目盛りです。使い方はスタートから1キロメートルの地点で計測します。スタートと同時にクロノグラフを作動させ、1キロメートルの地点を通過した時にクロノグラフをストップさせます。クロノグラフの針が30秒で止まっていたら30秒位置の目盛り（120）となりますので、その車は時速120キロとなります。レース以外でも使えますよ。例えば印刷をするのに1枚当たり15秒かかったとします。15秒の位置にある目盛りを見ると（240）ですのでその印刷は1時間当たり240枚印刷が出来ると言う事になります。タキメーターは時速算出や1時間当たりの生産性を測る機能です。ではテレメーターとはどのような機能でし

ょうか。右の写真のケース縁の目盛りがテレメーターの目盛りです。タキメーターとは数字が違いますよね。3秒あたりのケース縁に1km、9秒あたりのケース縁に「3」とあります。単位はKmです。テレメーターとは音の速さを利用して距離を測る機能です。雷が光った瞬間にクロノグラフをスタートさせ、音が鳴ったらストップさせます。クロノグラフの針が9秒でしたら雷までの距離は9秒位置の先にあるケース縁の目盛りは「3」ですので、約3キロメートルと言う事になります。昔、戦争中では大砲の発射の煙が見えた時にスタートさせ、着弾した音が聞こえたらストップさせ、敵との距離を把握するのに使用されていたようです。現在ではほとんど使用する場面がありませんので、テレメーター目盛りがついた時計はあまり発売されておりません。当店で取扱いがあるボールウォッチから1機種だけ発売しております。このテレメーター機能、使うとすれば遠くから打ち上げ花火を見た時に、光が見えたらスタートさせ花火の音が聞こえたらストップさせるとその秒数で花火とのおおよその距離が分かりますよ。

